

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

関西本部（電話：06-6341-3955）

9 目 県外事務所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 関西圏人財確保 モデル事業	767	0	767				767	
トータルコスト	2,381千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	龍谷大学と連携した人材確保のためのモデル事業の実施							
工程表の政策目標(指標)	移住・定住の促進 (関西圏からの I J U ターンによる移住定住200名（平成21～24年度）)							

1 事業の目的・概要

県外進学の高校生の約半数が進学する関西圏の大学と連携した県内企業等への人財確保を目的としたモデル的な取組を（財）ふるさと鳥取県定住機構とともに行う。

2 主な事業内容

区 分	実 施 主 体		備 考
	県（長期的な観点の取組）	定住機構（直接の就業支援）	
関西進学学生等への 早期情報提供	・高校・市町村・大学の協力により進学する学生・生徒に案内 ・定住機構メーリングシステム等を活用し継続的に情報提供		
関西の大学・県内企業との 情報交換会		県内就職支援、インターンシップ等の情報交換・意見交換	
龍谷大学と連携した 取組	○新入生入学時ガイダンス ○県出身学生等との交流会 ○大学経由の県出身学生等への定期情報提供 ○鳥取県をテーマとした連携講座	○県内企業学内ガイダンス・キャリアセミナー ○理工学部と企業との情報交換・マッチング ○学内就職相談会 ○地方懇談会(保護者対象)等	【大学の役割】 ・会場提供 ・学内広報 ・準備運営 【連携講座】 大学と県で費用を折半

「定住機構」実施事業については（財）ふるさと鳥取県定住機構で調整中

< 龍谷大学の特徴 >

- 関西圏の大学の中で、最多の県出身学生が在学
- 県内にない文系（経済・経営・法・社会・文）学部、企業から希望の強い理工系学部がある
- 現在の学長が県出身者であり、本県への全学的な協力が可能
- 公開講座等大学の地域・社会貢献にも積極的

3 これまでの取組状況、改善点

- ・平成21～24年度に200人の I J U ターンの目標に対し、平成21年度の I J U ターンは計56名（12月末現在）。就農等を指向した I ターンなどへの取組の強化により今後も増を図る。
- ・進出企業を初め、県内企業からは、進学者の約半数（約850名）が関西圏の大学に進学しており、その関西圏からの人材確保の要望が強いが、県出身学生等に対する県内企業のダイレクトな情報提供に限られることがネックとなっている。
- ・企業等への就職支援については、大学の就職部を通じたアプローチが最も有効であるが、これまでは大学側のハードルが高く極めて限られた取組しかできなかった。
- ・そのため、（財）ふるさと鳥取県定住機構とともに大学の就職部を中心に関西圏の各大学との関係構築に努め、特に協力的な大学などとの間での連携を強化するため、本事業による取組を行うこととした。